



平成 23 年度

事業報告書

社団法人 北海道軽種馬振興公社

第1 平成23年度事業報告(平成23年4月1日から平成24年3月31日)

当社は、ホッカイドウ競馬を安定的に継続していくため平成23年3月に北海道が策定した「北海道競馬推進プラン」の着実な実施を図るため「北海道競馬の実施に関する業務」の委託を受け、馬産地の豊富な馬資源と競馬場施設の効率的利用を基本として健全な管理運営にあたりました。

1. 公社運営に関する会議等

(1) 総会

ア 第35回通常総会

平成23年5月31日

- ・平成22年度事業報告、収支決算、貸借対照表及び財産目録について
- ・役員を選任について

イ 平成23年度第1回臨時総会

平成24年3月19日

- ・平成24年度事業計画案及び収支予算案について
- ・公社の法人移行について

(2) 理事会

ア 平成23年第1回理事会

平成23年5月27日

(ア) 第35回通常総会提出議案について

- ・平成22年度事業報告、収支決算、貸借対照表及び財産目録について
- ・役員を選任について

イ 平成23年度第2回理事会

平成23年9月2日

(ア) 平成23年度開催概況(中間報告)について

(イ) 屋内調教坂路の進捗状況について

ウ 平成23年度第3回理事会

平成23年11月28日

(ア) 平成23年度開催結果について

(イ) 平成24年度開催骨子について

エ 平成23年度第4回理事会

平成24年3月5日

(ア) 平成23年度第1回臨時総会提出議案について

- ・平成24年度事業計画案及び収支予算案について
- ・公社の法人移行について

(イ) 屋内調教坂路使用規定の制定について

(3) 監査

ア 監事監査

平成23年5月13日

・平成 22 年度事業並びに収支決算に係る監査

2 北海道競馬実施事業

(1) 競馬事業の委託等について

公社が道から委託及び補助を受け業務を実施した。

(2) 報償費について

報償費については、新たに(社)ジャパンプリーダーズカップ協会(以下「JBC協会」という。)からの寄付金支援を頂き前年度以上を確保できた。これにより、2歳馬の出走頭数確保と魅力ある競馬番組を提供するため、2歳馬の出走手当や未勝利競走の賞金増額など出走馬確保対策を実施。

(3) 開催日程について

平成23年度ホッカイドウ競馬は、南関東との相互発売やインターネット、電話投票などによる発売拡大を図りながら、全日程を門別競馬場グランシャリオナイターとして開催した。15開催80日間(4月29日から11月17日)

発売額は115億7,138万円(前年比:102.5%、計画比:102.7%)。また、非開催日においても、南関東やばんえい競馬を中心に東海地区・岩手を場外発売した。

※5月25日・5月26日の2日間、合計8競走濃霧のため中止

(4) 発売拡大の取り組み

更なる発売拡大を図るため、道内では、既存場外発売所の再編整備を進めるとともに、集客対策を実施。

また、道外発売については、南関東との連携強化はもとより、馬柱等の情報提供の充実を図りながら、東海地域をはじめ、他地域での発売拡大にも取り組むとともに、電話投票やインターネット等の発売拡大などに努めた。

ア 既存場外の再編整備

ばんえいと共同場外のうちAiba 苫小牧を道営専用、帯広競馬場をばんえい専用場外として整備。(平成24年4月から運用を開始)

イ 他主催者との連携強化による相互発売

大井とホッカイドウ競馬の相互発売拡大を図る目的から実施されているナイター3レース発売(TCK de グランシャリオ)を含め、期間中3レース発売を引き続き実施。また、東海地域(名古屋、笠松)での発売や他地区での発売を実施。

ウ 電話・インターネット投票の発売拡大

情報提供の拡充などを積極的に推進し、近年、好調に推移しているインター

ネット投票について、大井・川崎開催時に重賞競走を配置するなど、更なる発売拡大を実施。

エ 全国発売競走の拡大

全国牝馬重賞シリーズ（グランダム・ジャパン）として実施された「ノースクイーンカップ（7／28）」、「エーデルワイス賞（10／13）」や新たに設置されたスーパースプリント競走北海道・東北ブロック戦「グランシャリオ門別スプリント（6／30）」を門別競馬場で実施し、全国発売を行った。

オ 共同馬券発売システムへの参加

全国地方競馬主催者が、勝馬投票券の共同発売を行う共同馬券発売システムへの参画により、他場発売レース数の拡大を図った。

(5) 新たな施設整備について

冬期間における調教施設の改善を図るとともに、強い馬づくりに資するため屋内調教用坂路を導入した。また、劣化が著しい走路の改修を行うとともに、各主催者が共同で導入するトータリゼータシステムのインフラ整備を実施した。

(6) 競馬番組について

競馬番組は、競馬事業におけるの根幹部分であり、常にファンに魅力ある競走を提供していくことが重要。ホッカイドウ競馬は他の地方競馬とは異なり2歳戦が競走の約4割を占め、その翌年には全国の競馬場へ多くの活躍馬を輩出することから、全国の競馬ファンからも注目されている。そうした特色を活かし、よりファンが注目する魅力ある番組づくりに努めた。

ア JRA 認定競走

JRA 協力金のもと、昨年同様、全国最多の174競走を実施。

- ・フレッシュ 53競走（22年度56競走実施）
- ・ルーキー 21競走（22年度21競走実施）
- ・アタック 100競走（22年度94競走実施）

イ JBC 協会協賛 スタリオンシリーズ競走

ホッカイドウ競馬の特色ある競走として定着し、全国から注目されているスタリオンシリーズ競走を、JBC協会の支援のもと全56競走実施。

重賞競走（DG含む）	20競走
2歳オープン	10競走
3歳・3歳以上	23競走
プレミアムシリーズ	3競走
（ディーピンパクト、ハーツクライ、キングカメハメハ）	

ウ 公益社団法人日本軽種馬協会による副賞贈呈事業

牝馬の所有意欲の高揚と牝馬限定競走の維持拡大による軽種馬生産経営の安定化に資する観点から公益社団法人日本軽種馬協会が実施する「牝馬限定競走勝馬馬主への副賞贈呈事業」について全36競走を対象に実施。

(総額800万円)

エ 全国牝馬重賞シリーズ(グランダム・ジャパン)への参加

全国の地方競馬主催者が牝馬重賞競走をシリーズ化して実施する「全国牝馬重賞シリーズ(グランダム・ジャパン)」に参加する。

・「ノースクイーンカップ(アドマイヤムーン賞)」 1着賞金 300万円
実施日 7月28日(木)

・対象競走「エーテルワイス賞(ハービゾンジャー賞)」 1着賞金2,000万円
実施日 10月13日(木)

オ 地方競馬スーパースプリントシリーズへの参加

全国の地方競馬主催者が短距離競走をシリーズ化して実施する「スーパースプリントシリーズ」へ参加。

・対象競走「グランシャリオ門別スプリント(フレンチデビュー賞)」賞金200万円
実施日 6月30日(木) 距離1,000m
※北海道・岩手ブロック競走として実施

カ ダービーWeekへの参加

ジャパンダートダービーに向けた地方競馬の3歳重賞体系整備を目的とし、全国6カ所で実施されるダービーWeekシリーズに参加。

・対象競走 「北海優駿H1(ティーフスカイ賞)」1着賞金500万円
実施日 6月7日(火)

キ 地方競馬の2歳馬による未来優駿シリーズ競走への参加

兵庫ジュニアグランプリ及び全日本2歳優駿に向けた2歳重賞体系整備を目的に設定され、全国7カ所で実施される「未来優駿」に参加。

・対象競走 「サッポロクラシックカップ」1着賞金300万円
実施日 11月1日(火)

ク 平成23年度新馬導入推進助成事業の実施

良質な2歳馬の地方競馬への早期入厩促進を図ることを目的に、地方競馬全国協会が実施する事業を活用し、2歳競走(JRA認定競走を除く)において付加賞金(副賞)を1着馬から5着馬までの馬主に贈呈(43競走予定)した。

・付加賞金（進上金、番組賞金加算対象外）

1着 50万円, 2着 10万円, 3着 7.5万円, 4着 5万円, 5着 2.5万円

ケ 重賞競走の新設

シンガポール航空国際カップ（G1）を制するなどホッカイドウ競馬に多大な功績を残したコスモバルク号を称え馬名を冠した競走を新設。

・対象競走 「コスモバルク記念（コンデュイット賞）」

3歳以上 1着賞金300万円

実施日 5月5日（木）

（7）ファンサービスについて

放映番組の編成の見直しや、インターネット及びスポーツ新聞を利用した情報提供など、来場者をはじめ、道内や道外ファンへの情報提供の充実を図り、ホッカイドウ競馬のファン拡大と発売拡大に努めた。

ア イベント広場の活用

プチハウスやジンギスカンハウスの活用によるグループ来場の促進や、ログハウスでのオリジナルグッズ、オリジナルスイーツ販売。春・夏・秋のケイバまつりにおける「ひだか特産市」、ラジオ番組中継放送や、ジンギスカン・地元食材を名物とした広場として活用。

イ 道内場外でのファンイベント

JA特産物などをプレゼントする全道場外 Aiba 祭の実施や、JRA 函館・札幌競馬場や道内ウインズとホッカイドウ競馬場外とのコラボレーション企画を実施し場外発売をアピールした。

ウ 放映及び放送内容の充実

パドック解説及びレース結果解説また翌日の展望など、購買意欲に繋がる映像構成とし、番組内容の充実を図った。

また、競馬への参加意欲を促進させるため、レース情報や勝馬に関する話題などを取り込み放送番組内容の充実に努めた。

エ オフィシャルホームページの改修

インターネットの多様化・高速化に伴い、ホッカイドウ競馬オフィシャルホームページの改修を行うとともに、スマートフォン・携帯電話にも対応した内容とした。

オ 道外スポーツ新聞への馬柱掲載の充実

発売額が好調に推移している携帯・インターネット投票の発売拡大策として、各関係団体からのご支援を頂きながら、関東・東海・関西エリアのスポーツ新

間に馬柱掲載などを拡大した。(8紙2レース掲載)

- ・サンケイスポーツ、日刊スポーツ、スポーツニッポン、スポーツ報知東京スポーツ、中京スポーツ、大阪スポーツ、デイリースポーツ

また、週刊競馬ブックでの重賞競走予想馬柱掲載やケイバブック HP からの重賞予想データ無料ダウンロードサービスを実施した。

カ SPAT4 での映像配信

南関東電話投票 (SPAT4) との連携により、会員への「発売情報・チラシ送付、動画配信サービス」を実施した。

キ 札幌からの無料送迎バス運行

開催日 (80日間) に札幌から門別競馬場までの無料送迎バスを運行し、首都圏からのファンの利便性を確保した。

(8) 有名企業とのタイアップ

道民に馬文化を通じてホッカイドウ競馬を親しんで頂くため、各種イベントや協賛競走を有名企業とタイアップして実施した。

ア サッポロビールとの連携

- ・オリジナル記念缶を作成し、全道コンビニ等で販売し連携をPRした。
- ・大通りビヤガーデン会場や札幌市内ホテルにおいて競馬ライブ中継やゲームを交えたイベントを実施した。

イ 楽天競馬(競馬モール)と北農中央会・産地 JA との連携

楽天競馬での馬券購入と日高管内特産品の抽選をコラボレーションさせ、産直キャンペーンとして実施。

(9) 門別競馬場を活用した日高地域の活性化

日高振興局が推進する「門別競馬場を核とした日高観光及び馬文化啓発事業」や北海道が推進する「ホッカイドウ競馬魅力アップ事業」などと連携し、日高の玄関口に位置する門別競馬場を核とした日高管内の観光振興に寄与する取り組みを実施。

ア 門別競馬場を核とした日高観光及び馬文化啓発事業の取組

門別競馬場において馬文化啓発イベントの実施 (ポニーレース、流鏝馬)

イ ホッカイドウ競馬魅力アップ事業の取組

南関東競馬及びJRAと連携したイベントの実施